

# 2020年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社キトー（東証1部：6409）

2019年8月6日

## 概況

### 市場の先行き不透明感は続くものの、当社を取り巻く需要環境は底堅く、業績は計画通り進捗

1. 前年同期比、減収減益の要因は前年同期計上の韓国、大型案件（売上規模7億円）、および当期での一過性となる費用計上の影響
2. グローバル経済が弱含む中、当社事業環境は良好
  - ・ 主要市場では業種分散の効いたポートフォリオが、当社業績を後押し
  - ・ 中国は好調業種の需要を捉えると共に、安全意識の高まりでシェアを拡大

(単位：百万円)	2020/3 期 Q1	前年同期比
<b>売上高</b>	<b>13,247</b>	<b>△1.4%</b>
<b>営業利益</b>	<b>837</b>	<b>△15.6%</b>
<b>当期純利益※</b>	<b>327</b>	<b>△37.0%</b>

※親会社株主に帰属する四半期純利益 / 為替平均レート 1ドル = 109.9円

## 業績

1

## 2020年3月期 第1四半期 決算報告

2

## 2020年3月期 見通し

3

## 参考資料

- 過去5期分の業績・財務情報（2015年3月期-2019年3月期）
- 事業構造について
- 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

# 2020年3月期 第1四半期 決算ハイライト

(単位：百万円)	2019/3期 Q1 (4~6月)	2020/3期 Q1 (4~6月)	前年同期比
売上高	13,441	13,247	△1.4%
売上総利益 (売上総利益率)	4,827 (35.9%)	4,931 (37.2%)	+2.1%
営業利益 (営業利益率)	992 (7.4%)	837 (6.3%)	△15.6%
営業外収益	58	40	
営業外費用	236	291	
経常利益 (経常利益率)	814 (6.1%)	587 (4.4%)	△27.9%
特別損益	-	△4	
法人税等	260	233	
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (当期純利益率)	519 (3.9%)	327 (2.5%)	△37.0%
EBITDA =営業利益+償却費	1,653	1,587	

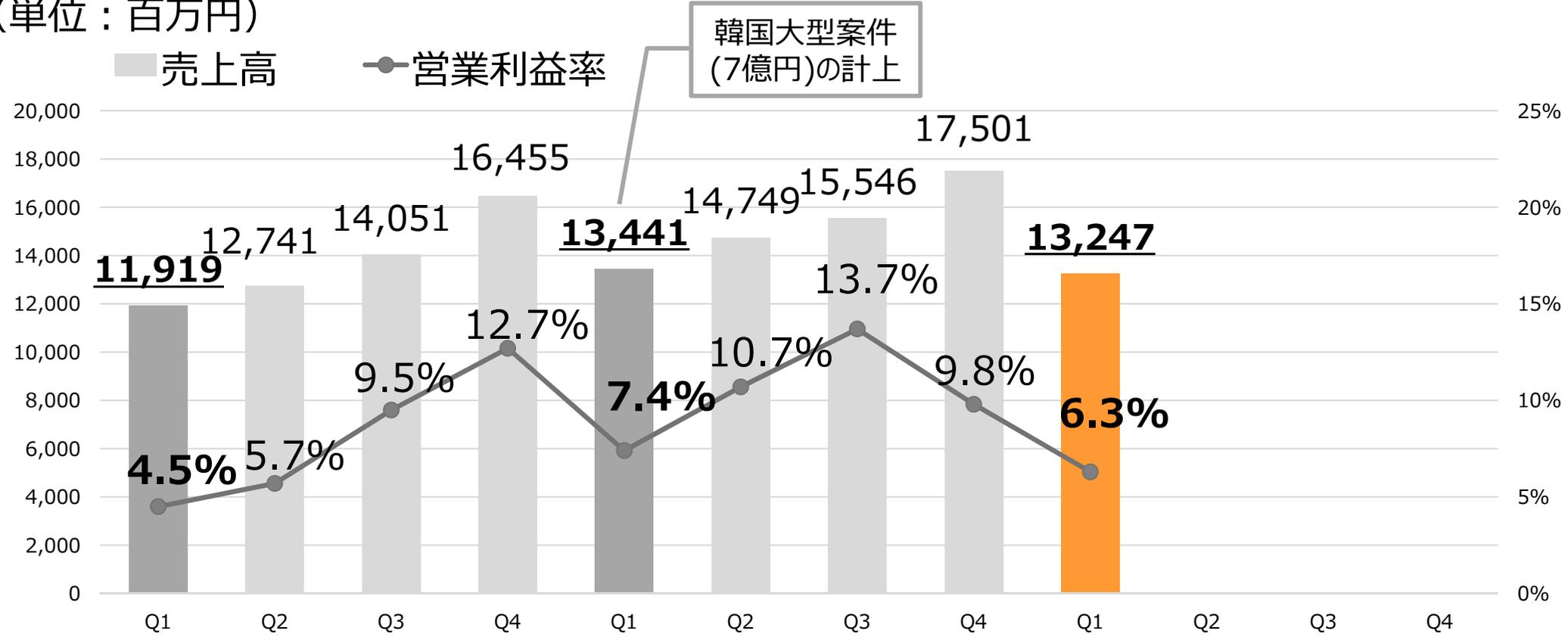
注 為替レート (2019/3期Q1→2020/3期Q1) :

USD 109.1円→109.9円    CAD 84.5円→82.2円    EUR 130.1円→123.5円    RMB 17.1円→16.3円

# 売上高および営業利益率（四半期比較）

前年同期に計上された韓国の大型案件の影響はあるものの  
 インフラ、民間設備投資需要は依然堅調

(単位：百万円)



営業利益	2018 Q1	2018 Q2	2018 Q3	2018 Q4	2019 Q1	2019 Q2	2019 Q3	2019 Q4	2020 Q1 (予)
営業利益	538	730	1,338	2,092	992	1,572	2,131	1,717	837

**2018/3期**  
 売上高 55,168  
 営業利益 4,698

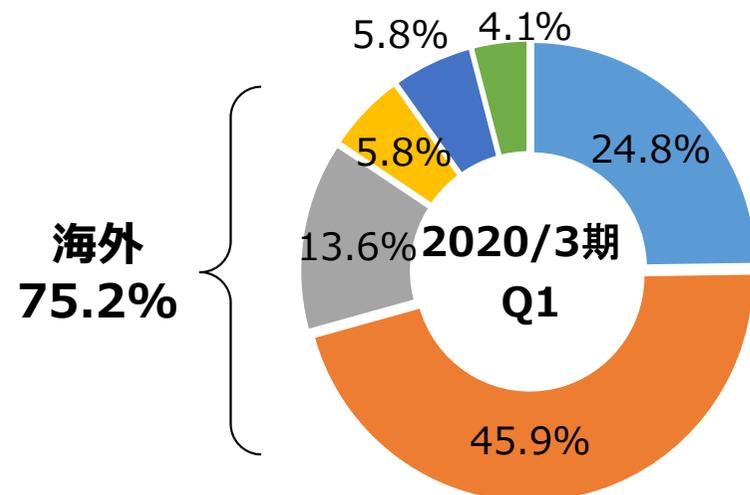
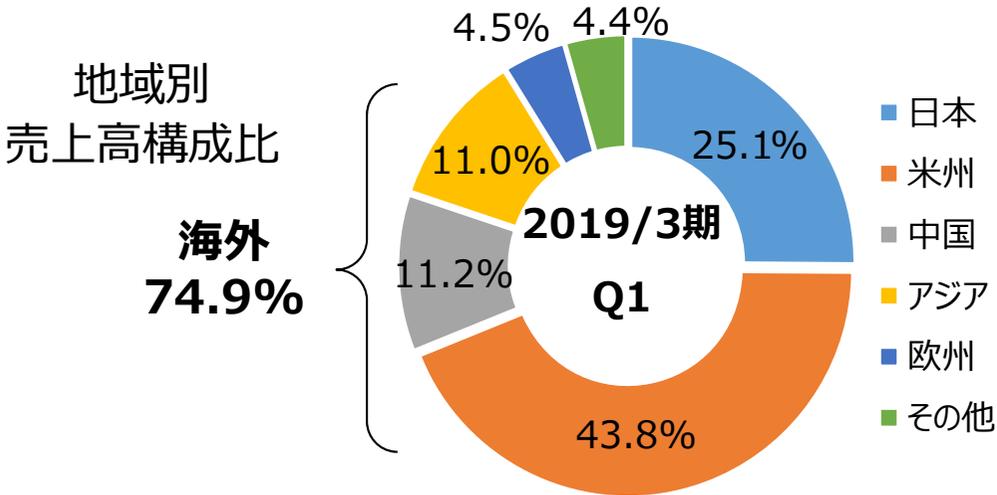
**2019/3期**  
 売上高 61,238  
 営業利益 6,413

**2020/3期 (予)**  
 売上高 62,800  
 営業利益 6,700

# 地域別の状況

(単位：百万円)	2018/3期 Q1		2019/3期 Q1		2020/3期 Q1		前年同期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
<b>売上状況</b>	11,919	100.0%	13,441	100.0%	13,247	100.0%	△194	△1.4%
<b>日本</b>	3,163	26.5%	3,367	25.1%	3,282	24.8%	△85	△2.5%
<b>米州</b>	5,466	45.9%	5,894	43.8%	6,084	45.9%	+189	3.2%
<b>中国</b>	1,323	11.1%	1,501	11.2%	1,804	13.6%	+303	20.2%
<b>アジア</b>	848	7.1%	1,475	11.0%	763	5.8%	△712	△48.3%
<b>欧州</b>	542	4.6%	606	4.5%	774	5.8%	+168	27.8%
<b>その他地域</b>	575	4.8%	596	4.4%	538	4.1%	△57	△9.6%

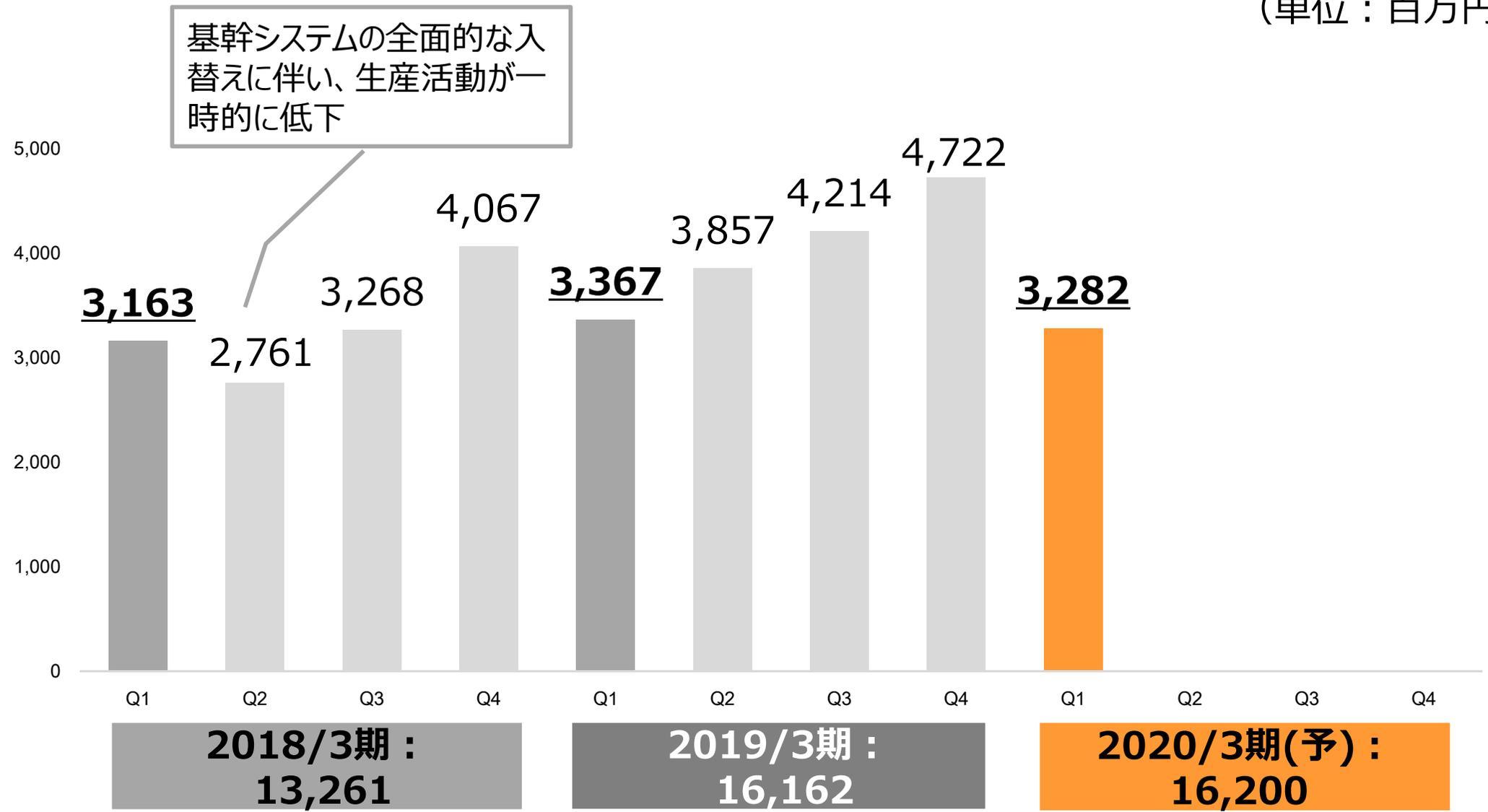
注 為替レート (2019/3期Q1→2020/3期Q1) :  
 USD 109.1円→109.9円 CAD 84.5円→82.2円 EUR 130.1円→123.5円 RMB 17.1円→16.3円



# 地域別売上高（日本）

- 全体景気の減速感はあるものの、当社関連需要は底堅く推移

(単位：百万円)



# 地域別売上高（米州）

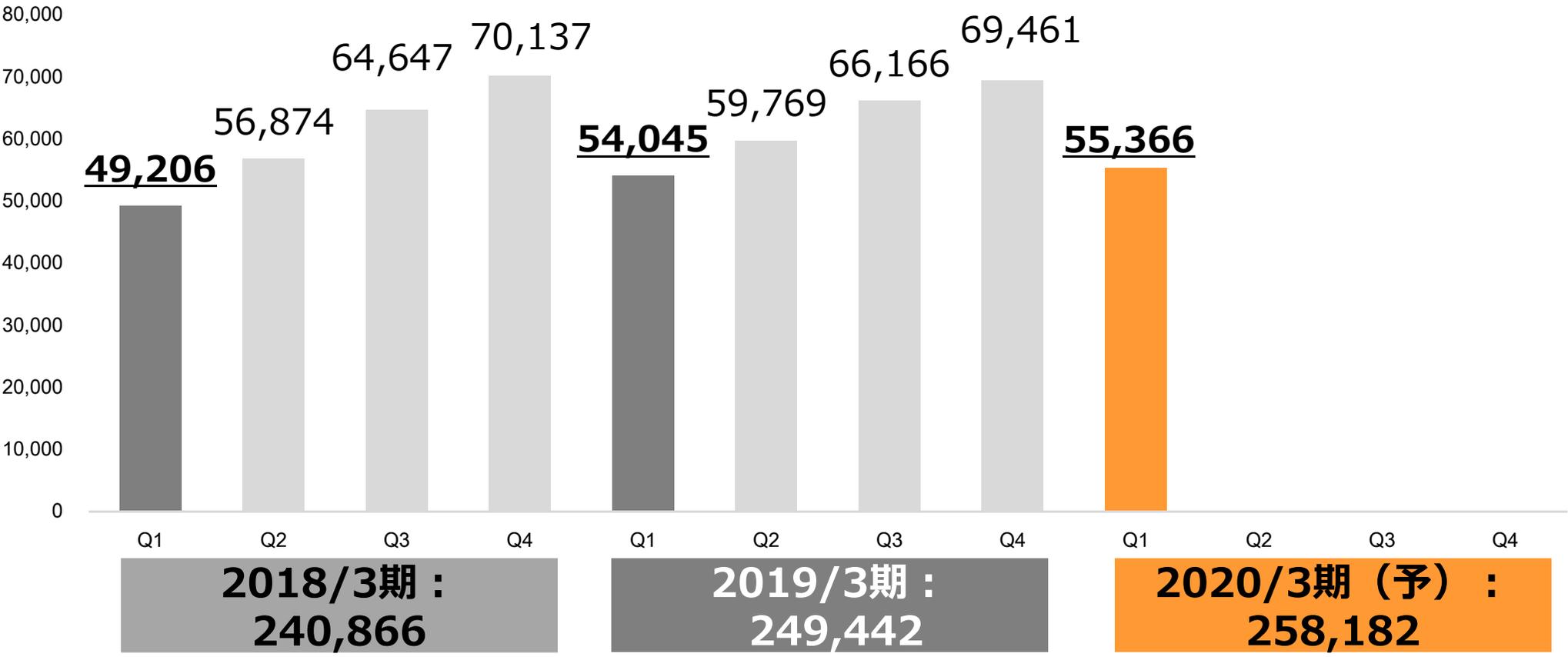
※グラフは米国市場売上高にカナダ及び中南米市場（USDドル換算）を加算した金額の推移

## ◇米州事業の特徴

日本と同様にホイストを中心としたマテハン事業に加えて、ピアレス社のクサリ関連事業で構成

## ● 民間設備投資、インフラ関連、資源関連需要とも堅調

（単位：千USD）



# 地域別売上高（中国）

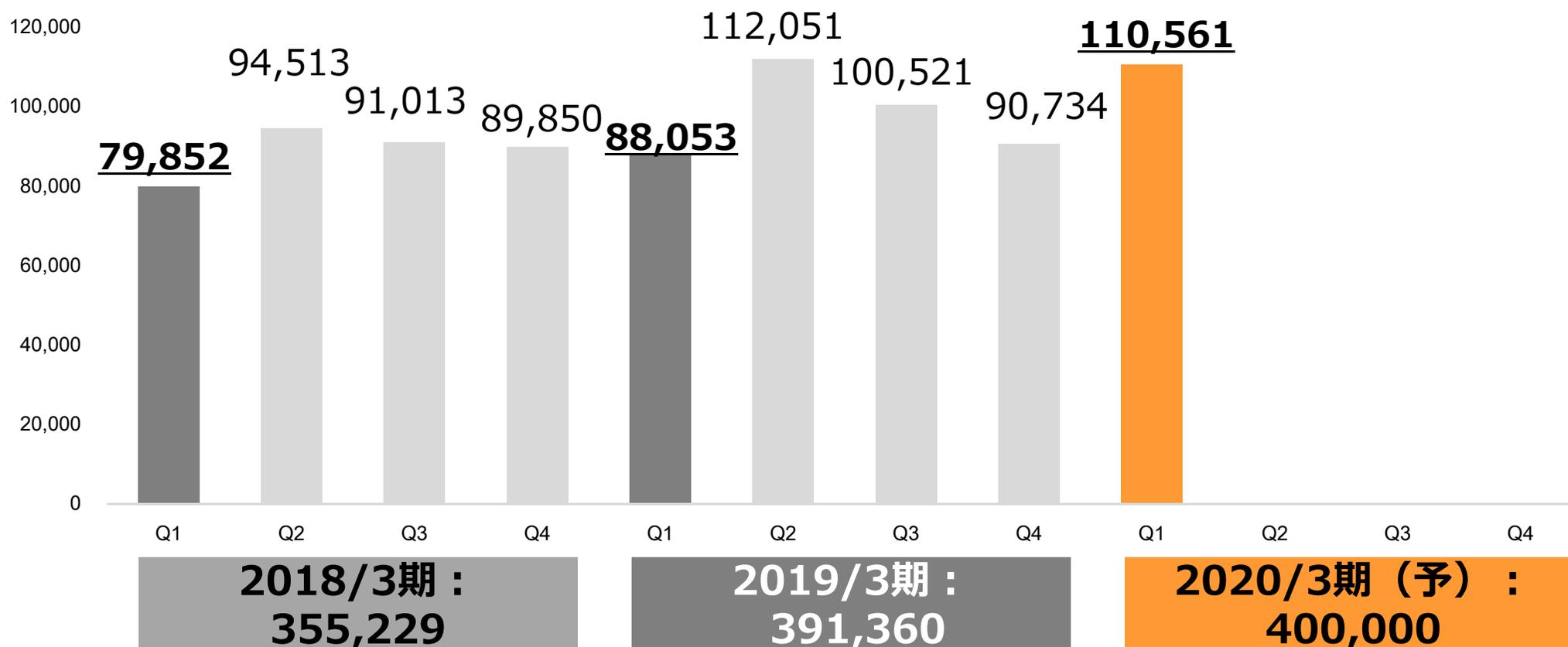
※中国は1-12月決算

◇中国事業の特徴：

中国市場向けロープホイストの製造販売と、日本からの高機能製品の輸入販売が事業の2本柱

- 景気全体が弱含むなか、半導体・EV、電力・鉄道等、好調産業の需要が牽引
- 安全意識の高まりによりシェアは拡大傾向、増収トレンドを継続
- 収益性を重視した事業運営により着実な利益を計上

(単位：千RMB)



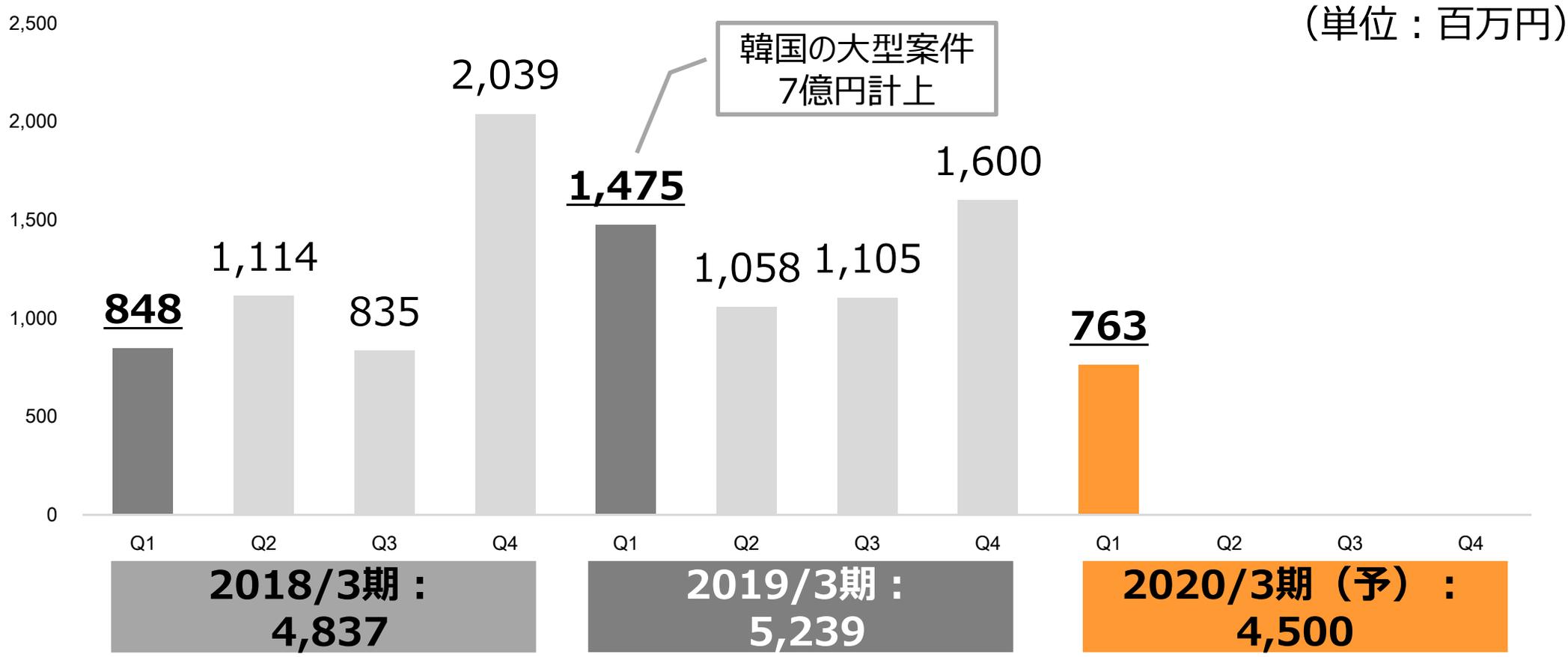
# 地域別売上高（アジア）

※タイ、韓国、台湾は1-12月決算、インドネシア、インドは4-3月決算

◇アジア事業の特徴：

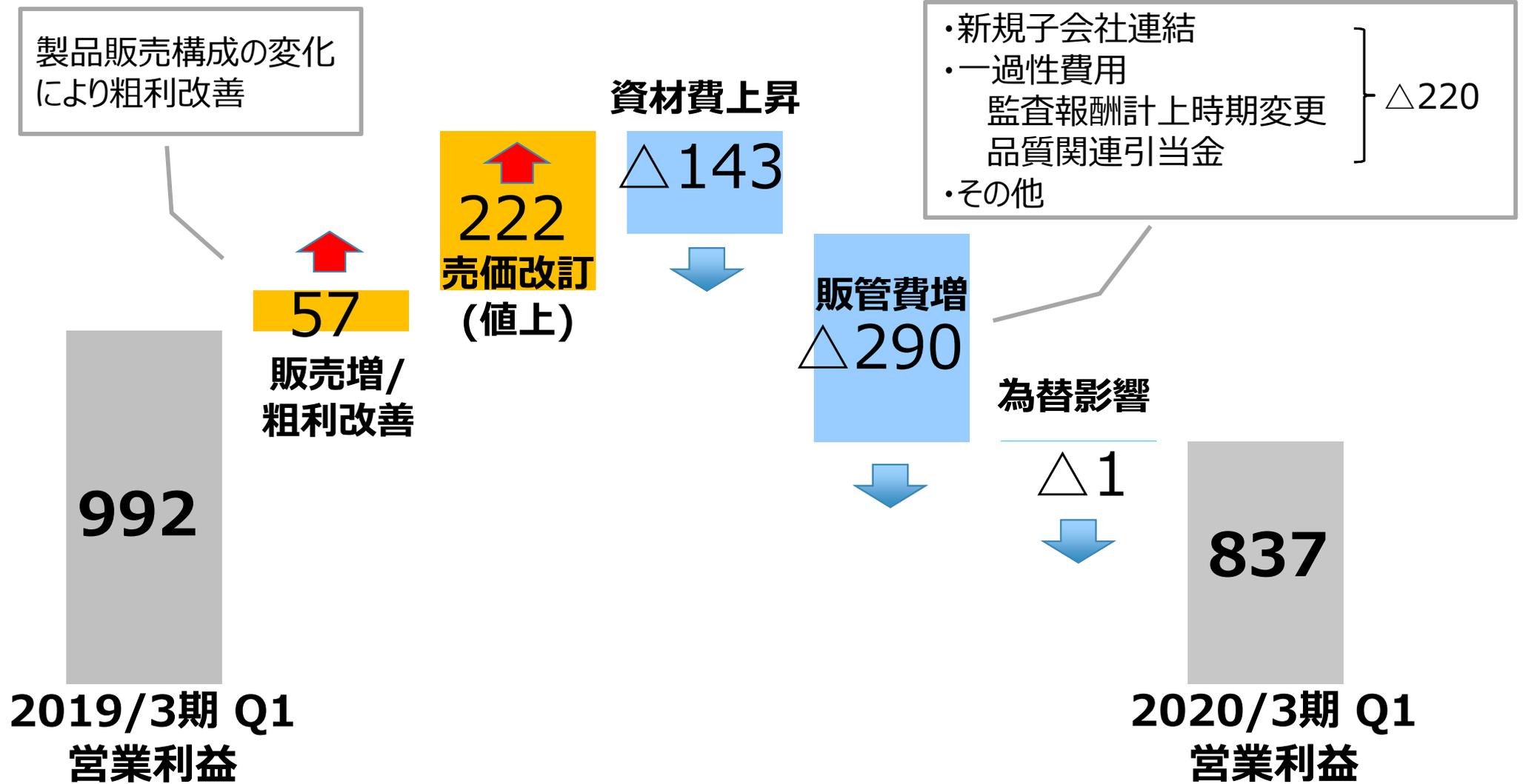
韓国、タイで、当地域の売上の70%を占める。事業構造を見直し収益性拡大を図る。

- 前年同期計上の韓国大型案件の影響により大幅減収
- 事業構造見直しにより、ホイスト販売は順調に拡大、クレーン事業の収益性も改善



# 営業利益の比較

(単位：百万円)



# 2020/3期 第1四半期連結貸借対照表

単位：百万円	2019/3期 Q1	2020/3期 Q1	増減額
<b>流動資産</b>	37,122	38,380	1,258
現金及び預金	9,378	8,468	△909
受取手形及び 売掛金	10,467	10,062	△405
たな卸資産	16,225	18,675	2,449
その他	1,050	1,174	123
<b>固定資産</b>	22,618	21,830	△788
有形固定資産	11,210	12,065	854
無形固定資産	6,896	5,722	△1,173
投資その他の資産	4,511	4,041	△469
<b>資産合計</b>	59,740	60,210	469

単位：百万円	2019/3期 Q1	2020/3期 Q1	増減額
<b>流動負債</b>	16,825	18,561	1,735
支払手形及び 買掛金	6,563	6,610	47
短期借入金	5,929	7,209	1,280
その他	4,331	4,740	408
<b>固定負債</b>	19,023	15,404	△3,618
長期借入金	15,391	11,732	△3,659
その他	3,631	3,672	40
<b>純資産合計</b>	23,891	26,244	2,352
<b>負債純資産合計</b>	59,740	60,210	469

\* 1年内返済予定の長期借入金を含む

1

2020年3月期 第1四半期 決算報告

2

2020年3月期 見通し

3

参考資料

- 過去5期分の業績・財務情報（2015年3月期-2019年3月期）
- 事業構造について
- 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

## 日 本



### 市場環境

- 政府の災害復旧、防災、減災対応、インフラ老朽化対策の推進
- 民間設備投資需要は底堅い推移を見込む

### 取り組み

- 活況なインフラ関連事業にスポットをあてた専任営業を設置
- 効率的なモノづくり実現のために生産ラインの改革に着手

## 米 州



### 市場環境

- 需要は幅広い産業での底堅い推移を見込む
- インフラ関連投資、エネルギー関連産業に期待

### 取り組み

- 納期短縮、質の高いサービスによる顧客満足度向上
- 製品品揃えを拡充し、顧客を取り込む
- チェーン生産能力増強への投資を実施

## 中国



### 市場環境

- EVを中心とした内需関連の設備投資が好調
- 環境、品質を重視する方向への社会思考の高まり
- 好調業種の設備投資需要を捉え、販売拡大を図る

### 取り組み

- 日本製プレミアムセグメント製品のさらなる需要掘り起こし
- コスト削減による利益改善策を継続

## アジア



### 市場環境

- タイをはじめ、東南アジアにおける設備投資需要は回復基調
- 韓国市場の液晶・有機ELディスプレイ向け投資は減速

### 取り組み

- クレーンのメンテナンスなどサービス事業、ホイスト販売の強化
- 事業効率化による利益改善策を継続

## 欧州



### 市場環境

- 幅広い産業での緩やかな需要拡大を見込む

### 取り組み

- 子会社との相乗効果拡大、さらなる市場の開拓

# 2020年3月期 業績予想 (地域別)

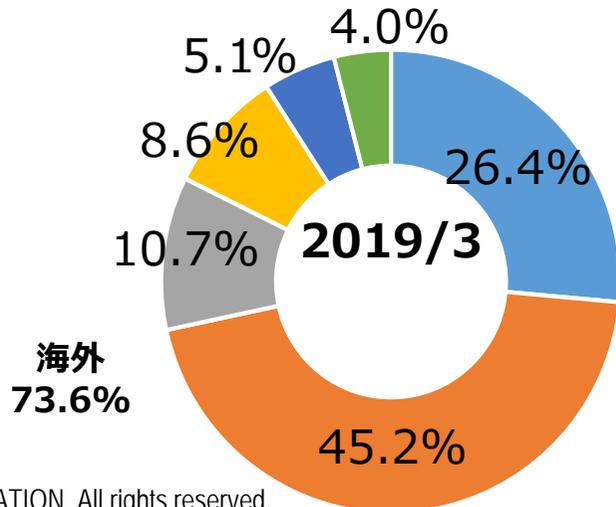
(単位：百万円)	2019/3期		2020/3期 (予想)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	61,238	100.0%	62,800	100.0%	1,562	0.2%
日本	16,162	26.4%	<u>16,200</u>	<u>25.8%</u>	<u>38</u>	<u>0.2%</u>
米州	27,663	45.2%	<u>28,400</u>	<u>45.2%</u>	<u>737</u>	<u>2.7%</u>
中国	6,539	10.7%	<u>6,800</u>	<u>10.8%</u>	<u>261</u>	<u>4.0%</u>
アジア	5,239	8.6%	<u>4,500</u>	<u>7.2%</u>	<u>△739</u>	<u>△14.1%</u>
欧州	3,204	5.1%	4,400	7.0%	1,196	37.3%
その他地域	2,430	4.0%	2,500	4.0%	70	2.9%

注 下線部は前回資料 (5月13日付) から変更あり

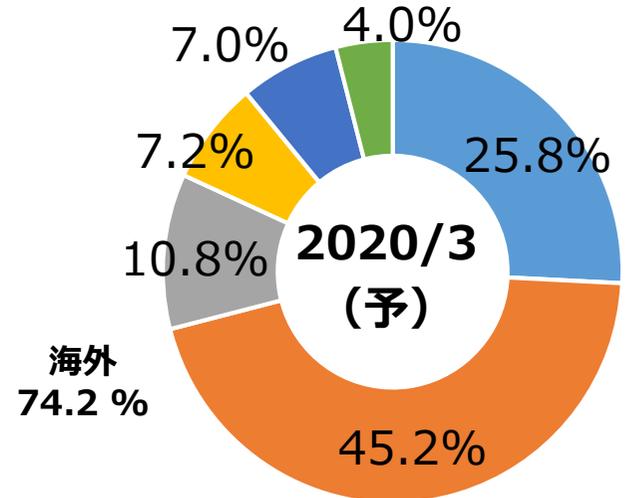
注 為替レート (2019/3期→2020/3期) :

USD 110.9→110.0円 CAD 84.6→85.0円 EUR 128.4→130.0円 RMB 16.7→17.0円

地域別  
売上高構成比



- 日本
- 米州
- 中国
- アジア
- 欧州
- その他



# 2020年3月期 業績予想

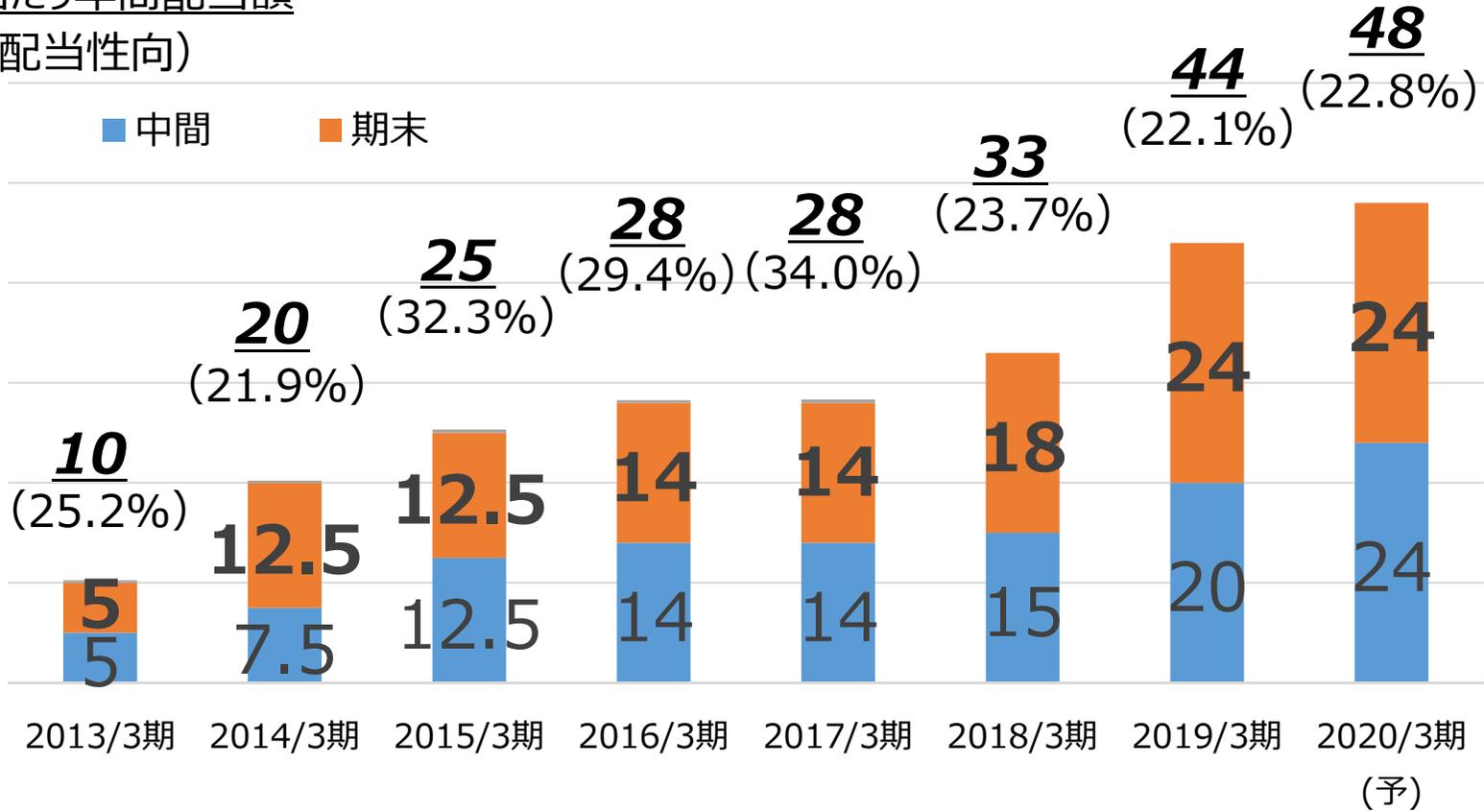
(単位 百万円)	2019/3期	2020/3期 (予想)	前期比
売上高	61,238	62,800	+2.5%
営業利益 (営業利益率)	6,413 (10.5%)	6,700 (10.7%)	+4.5%
経常利益 (経常利益率)	5,748 (9.4%)	6,400 (10.2%)	+11.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	4,064 (6.6%)	4,300 (6.8%)	+5.8%
EBITDA =営業利益+償却費	9,201	9,800	
設備投資	1,416	4,000	

注 為替レート (2019/3期→2020/3期) :

USD 110.9→110.0円 CAD 84.6→85.0円 EUR 128.4→130.0円 RMB 16.7→17.0円

## 配当性向20%以上を目処に 年間配当額44円 から48円に増配予定

1株当たり年間配当額  
(配当性向)



(注) 下記の株式分割を行っており、上記配当額は当該株式分割を勘案した数値を記載しております。

2013年4月1日付：普通株式1株→100株、2014年10月1日付：普通株式1株→2株

(注) 2014/3期につきましては、2014年10月1日の株式分割前となる中間期の実際の1株当たり配当額は25円となり、株式分割後の期末の1株当たり配当額は2分割後の12.5円となります。

1

2020年3月期 第1四半期 決算報告

2

2020年3月期 見通し

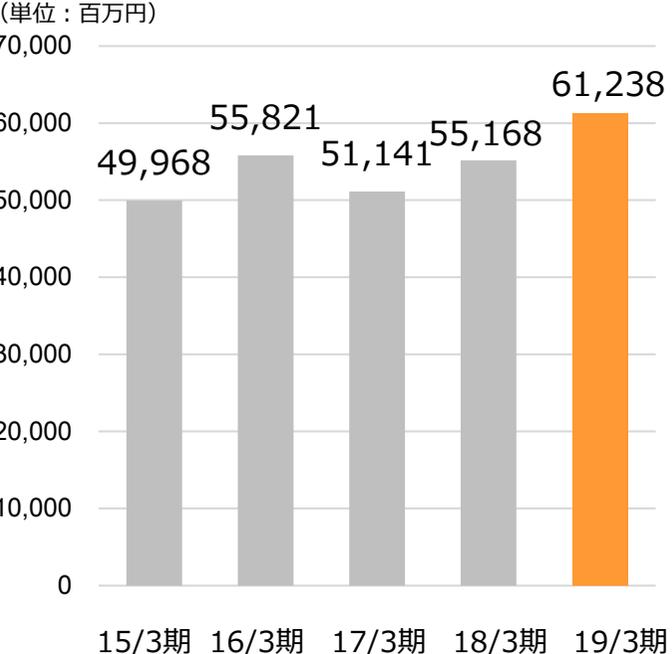
3

**参考資料**

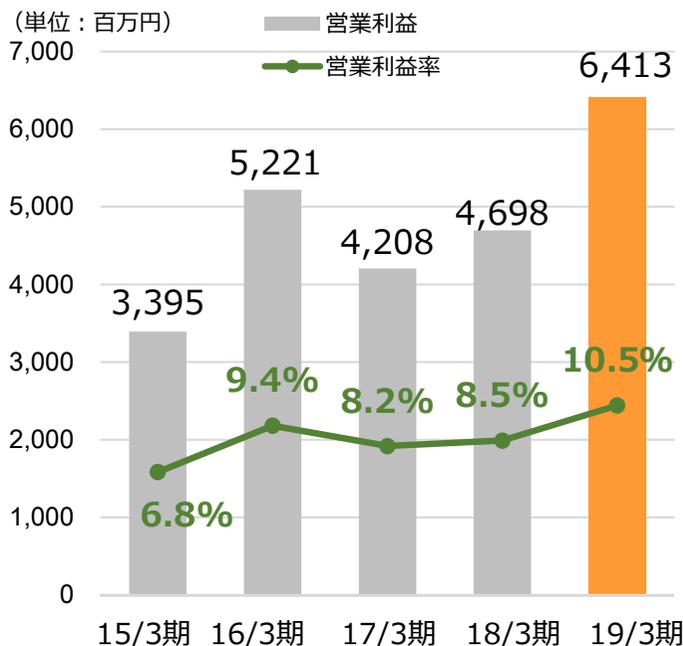
- 過去5期分の業績・財務情報（2015年3月期-2019年3月期）
- 事業構造について
- 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

# 業績・財務情報

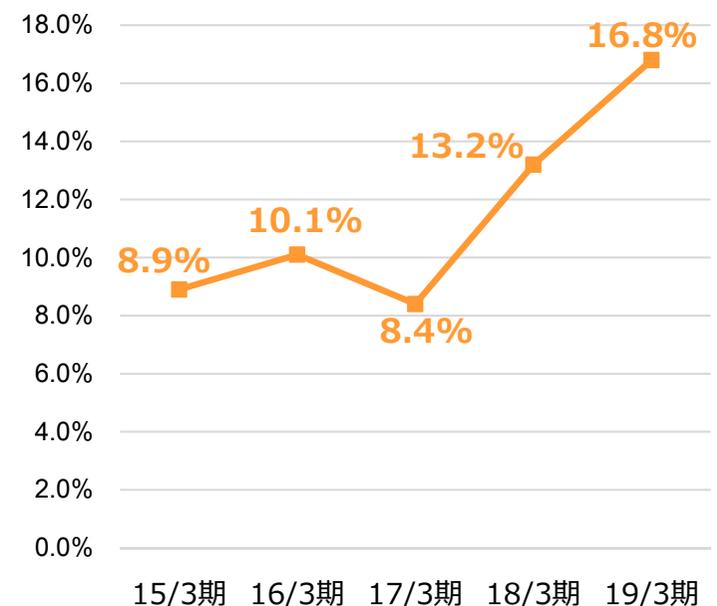
## 売上高



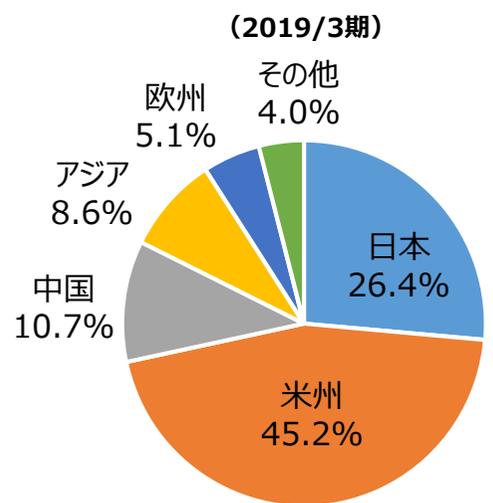
## 営業利益・営業利益率



## ROE



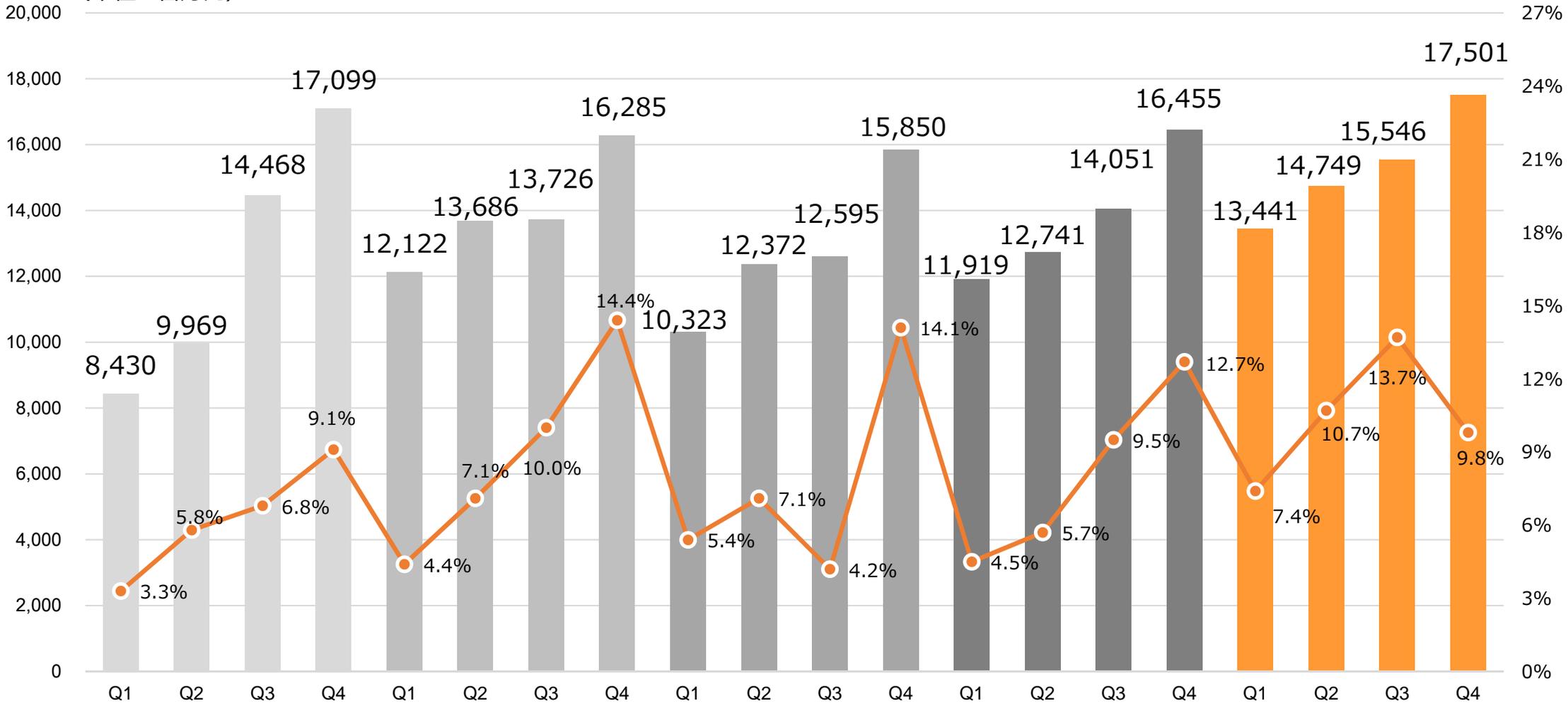
## 地域別売上高比率



	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期
海外比率	76.6%	77.3%	74.3%	76.0%	73.6%
為替平均レート					
USD	109.9円	120.1円	108.4円	110.9円	110.9円
CAD	96.5円	91.8円	82.5円	86.5円	84.6円
EUR	138.8円	132.6円	118.8円	129.7円	128.4円
RMB	17.2円	19.2円	16.4円	16.6円	16.7円
設備投資額(百万円)	1,408	2,013	2,393	1,411	1,416
減価償却費(百万円)	1,311	1,814	1,792	2,116	2,470

# 売上高および営業利益率（四半期比較）

(単位：百万円)



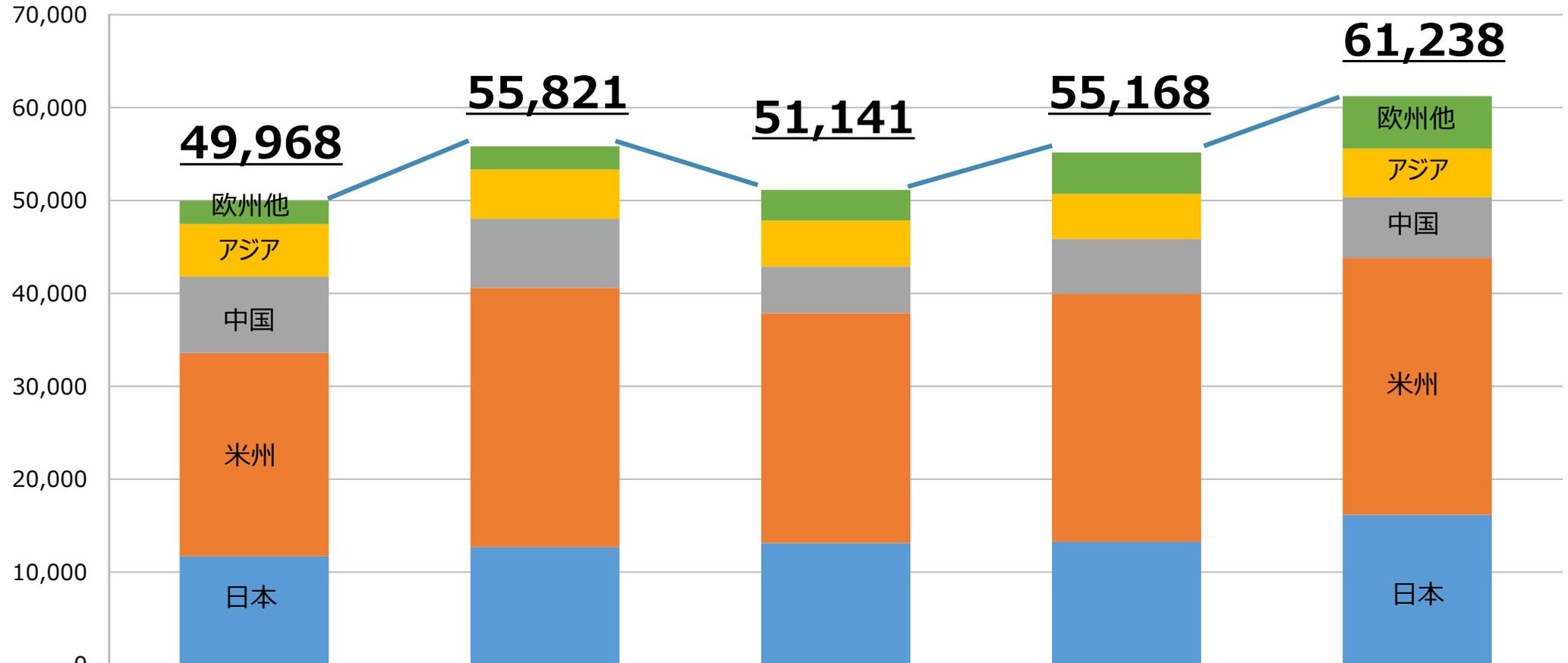
営業利益

280 575 987 1,553 538 966 1,371 2,345 561 876 532 2,239 538 730 1,338 2,092 992 1,572 2,131 1,717

2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期
売上高 49,968	売上高 55,821	売上高 51,141	売上高 55,168	売上高 61,238
営業利益 3,395	営業利益 5,221	営業利益 4,208	営業利益 4,698	営業利益 6,413

# 地域別売上高推移

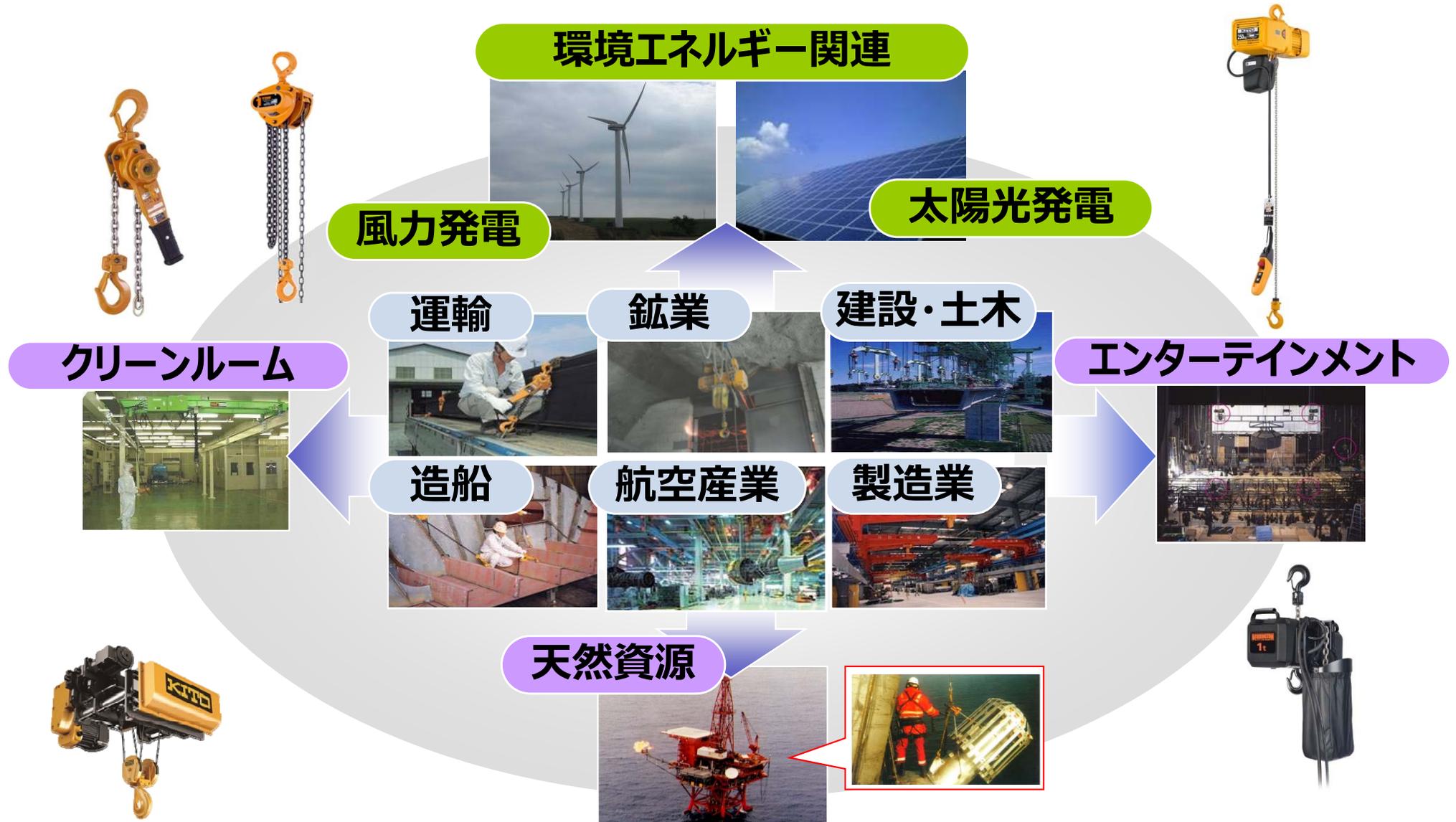
(単位：百万円)



	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期
■ 欧州他	2,500	2,479	3,308	4,465	5,634
■ アジア	5,676	5,321	4,925	4,837	5,239
■ 中国	8,198	7,418	5,034	5,903	6,539
■ 米州	21,888	27,909	24,742	26,700	27,663
■ 日本	11,702	12,692	13,129	13,261	16,162

# 事業構造

# 幅広い産業分野に顧客基盤



# 製品領域と取り組み

クレーン



2018年1月

フィンランド エリキラ社（ライトクレーンの製造販売）買収  
欧州、日本において販売開始、グローバル展開の推進

巻上機  
（ホイスト）



2018年4月

オランダ ヴァン・ルースデン社（ホイストのカスタマイズ）  
高付加価値製品のラインナップ拡大、欧州での差別化



2019年5月

ロープホイスト：米国内での販売開始

スリング  
吊り具など



2014年8月

北米最大級チェーン製造会社を買収（ピアレス）

2016年2月

イタリア チェーン製造会社を買収（キトーイタリア）

# 中国事業について

- 全体の設備投資需要が弱含むなかで、好調業種のニーズを捉えると共に、安全意識・品質意識の高まりにより、シェアが拡大
- 高い利益水準を安定的に確保、過去7期の営業利益率は平均10.8%
- 中国生産の90%以上を、中国国内市場向けに販売

	江陰キトー（1995年 設立）	上海キトー（2004年 設立）
製 品	ワイヤーロープホイストを中心に、 現地生産・現地販売	日本製チェーンホイスト製品の輸入販売
ターゲット	現地の製造業一般	日系を含む外資系企業、中国大手企業
FY2018 売上規模	約3.6億元	約0.7億元

# 中期経営計画 (2017年3月期-2021年3月期)

# 基本方針

## 3つの基本方針による“KITO SPIRIT”を原動力とした推進

- 1) 「顧客満足の上昇」を第1の基本方針とする。
- 2) それを実現する「効率的で機能的な組織」を作る。
- 3) そして、組織を作る「人」への積極的な投資を行う。



## 3つの経営目標に向け 収益倍増を目指す

### 1 高収益体質への回帰

- ・生産設備リニューアル
- ・高収益事業への集中

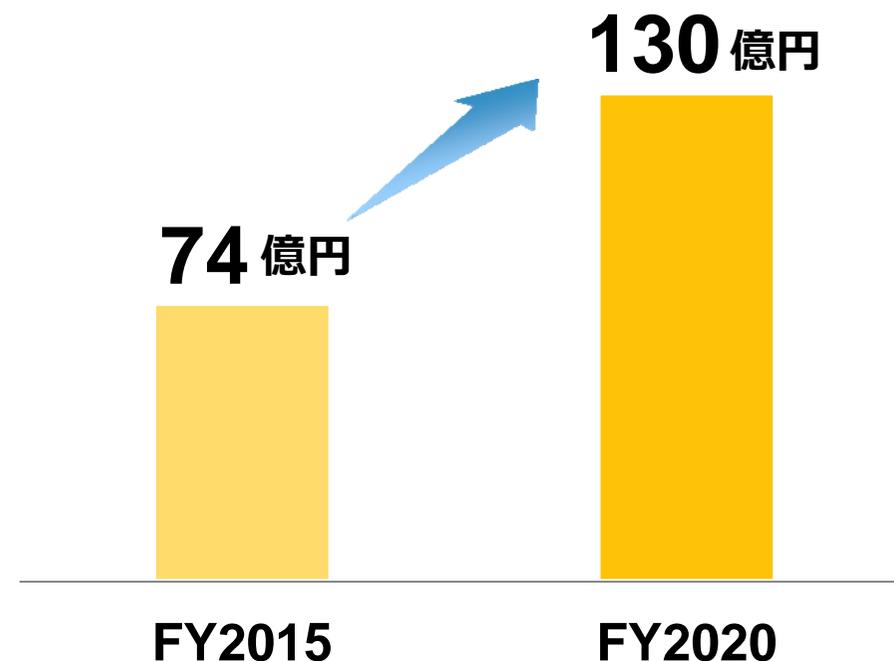
### 2 製品ポートフォリオ拡充による成長

- ・新製品の投入
- ・M & Aによる拡充
- ・既存製品の新市場への投入加速

### 3 真のグローバル企業への組織進化

- ・グローバル人材の採用と育成
- ・主要拠点における統一基幹システムの導入
- ・グループ内統一マーケティング・データベースの構築

Financial Target (EBITDA)



Phase1(基盤強化) から Phase2(本格的成長) へ

## “Lifting Expectations”

